

シスターの服の中

服の中に仕舞われて
何度も射精する僕

シスター！

また僕を
シスターの
服の中に
入れてください

あらあら
リコったら

あなたは
昨日入った
ばかりではありま
せんか

でも
またお勃起
してしまっ
たんです！

仕方あり
ませんね…

ではその
ガチガチに
なった
勃起チンポを

改めて
「浄化」して
差し上げましょ
う



戦争で
孤児になっ
た
僕たちは

森の中の
ヘメウィック
孤児院へと
送られました

よく
来ましたね

不安だったで
しょう？
もう大丈夫ですよ

シスターエマ

暖かく、
大らかなで
すい匂いの
人

ここでの生活は
とっても素敵
な日々になり
ました

さあ
中へ入って

今夜は
とびきりの
お祝いを
しましょうね





夕食の際、
シスターは
あるお話しを
しました

今日から
ここでの生活が
始まる訳ですが



ひとつ、
大切な約束が
あります

それは



おちんちんが
大きくなったら
直ぐに私に
言うことです

おちんちんが
大きなのはその
おキンタマに不浄な
汁が溜まってきている
証拠なのです

その不浄な汁を
溜め続けると

身体に不調が現れ、
最悪は病を
患う事となって
しまうのです

しかし
安心なさい

私は神に
仕えるもの

もしそうなら
しまっても
私の手で浄化する
ことが出来ます

ですから
手遅れになる前に
いち早く

どの様な
状況でも
遠慮なく

勃起したら
私に言うのですよ



その夜



なんか
ムズムズする



ん…



シスターの
言ってた
ことだ

うっ
おちんちんが
大きく
なってる…



あれ
ヘンリ達が
いない…



へんり達
広間に
いるのかな

あ

ん

あゝ

何も
恐れる事は
ありません

貴方たちは
扱われる
チンポに集中して

あゝ

イヤらしく
精液を吐き出す
ことだけ
考えていれば
いいのです

ほら
我慢しないで

金玉から
湧き上がる
感覚に
身を任せて

ザー
っぴゅん



おえ
出る

びるるるるる

そう
良い子
ですよ

残ってる
チン汁
ぜーんぶ
出しましょうね

あゝ
出る

あゝ

あゝ



まあリコ
起きていたの
ですね
おっ

もしかして
貴方もお勃起して
しまったの
ですか？
あ

では
こちらに
いらっしやい



私が
浄化を
してあげます
♡
あ



いいですか
これから
私に浄化を
求めるときは

「お勃起して
しまいました
浄化をお願い
します」と
こっ



自分から
チンポを
出して
こうやって
手を後ろ手に
組んで



大きな声で
言うのですよ♡
あ



先走り汁が溢れて来ましたね

これはお金玉の中の悪い液が漏れ出ているのです

それほど悪いものが多い溜まっています証拠です

シスターの厚い唇が

僕のチンポに吸い付き扱き上げる

私の聖なる口で直接舐め取りましょう

イヤらしい♡

んほ

そのエッチな光景に

すごくいけない気持ちになっ

先走り液が止まらなくなりました

お汁が溢れてくるではありませんか

これはお口での浄化が必要ですね



僕は
シスターの
甘い口内に

何度も不浄の
液を吐き
出しました



それが
僕の初めの
浄化でした



それでも
僕のお勃起は
収まらず



ついに
あの方法で
浄化された
事に
なりまし



なあ
リコは？



わからない
部屋には
いなかったよね



おはよう
ございます

シスター…

おはよう
ございます
皆さん

リコは
何度浄化しても
ザーメンが
止まらな
かったのだ

シスター！
それは…

ああ
これですか



こうして
神聖なる
私の身体に
直接貼り付ける
事で

全身の浄化を
行っているの
ですよん



みんなが
シスターに
着られたい
と思うよう
になりました

シスターの
肉に埋もれ、

鼓動を感じ

一番濃い
匂い吸い込んで

射精する

それが最高の
瞬間だと2人も
感じている様でした



お勃起して
しました！
浄化を
お願いします

今は
トッポの
浄化中ですよ

お願いします
シスター



はっ

はっ

仕方あり
ませんね

狂ったように
浄化を
求めました

ああっ
でる

チンポ汁
でるう！



おっ

はっ

ちゅぽ

べっ

良いですか
皆さん

はっ

はっ

はっ

今日は
聖壺を使った
浄化をします

見えますか？

この穴で
猛ったチンポを
包み込み

浄化を
施すのです

その前に
私の身体から
出る体液を

この聖なる
身体から
滴る体液は

魔を祓う
力があります

しっかりと
舐め取るの
ですよ

皆さんに
接種して
もらいます



僕たちは
シスターの
身体に
むしゃぶり
つきました

甘く感じる
乳首

肉厚な
ビラビラから
溢れ出る汁

シスターの
体液はどれ
エッチで
金玉に不
浄の
液が滾る
感じまし
た

むせかえる
ような脇汗

ではこれより
マンコ浄化を
はじめます

とっても
いいですよ

おかげで
聖なる穴の
準備が
整いました



聖なる
おまんこ
ピストンで

不浄な
ザーメンを
いっぱい
ドピュドピュ
しましうね

そうです
悪しき
チンポ汁を

全部
私の体内に
出すですよ

びるるるる

びん

どあ

ふん

ふん

スッ

お

ふん

ふん

ふん

ふん

かん

かん

かん

あら
何を見ている
のです

私の穴は
全て神聖な穴

遠慮せず
どんどん
ぶち込んで
いいですよ

そこからの
僕たちは
狂った獣のよう
でした







シスターの
ちんぽコキコキ
早いよお

すぐに
チン汁でちゃう
おっ

聖壺
熱い
ちんぽ
蕩けるちゃう
おっ

1人の浄化が
終わっても
2人が
終わる頃には

シスターの
お口に
ペロペロ
されて
不浄汁出るう
おっ



新たに
不浄汁が
溜まり
また聖壺浄化へ

ケツペロリ
おっ

何度出しても
シスターの
濃いフェロモンを
感じると

シスターの
聖壺ばんばん
気持ちいい

このループから
抜け出せなくな
ってしまいました

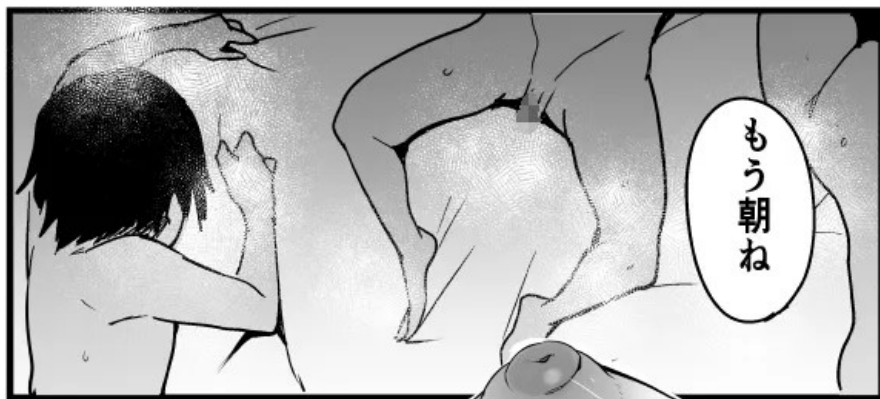
日々の服の中を
思い出し
たちまちに
チンポは勃起し

シスター
チンポ吸い顔
すごいエロい









もう朝ね



あら
液が漏れて
きてるわ

どっ



こうやって
栓をしましょう

ぎゅ

ぐい

ふん

すこし
緩いけど
大丈夫でしょ

さあ

今日も
素晴らしい
1日の始まりね

今日も
あの子たちの
食事に

性媚薬を
入れて
おかないと...

んん

んん

じゅっ♡

あら
この猿
また出して
るわ

べい

おわり

ダンス服の中

服の中に仕舞われて
何度も射精する僕

